

指導の形態 教材等	自立活動「構音の指導」 ～「サ」行の発音指導のポイント～	障がい種 等	通級指導教室 言語障がい
----------------------------	---------------------------------	-------------------------	-----------------

授業の概要やよさ

- ・ストロー法を取り入れ、舌の感覚と息の出し方でS音を出すコツをつかませる。
- ・舌の運動や口の体操に加えて、最後に自由会話の時間も確保することで、楽しく通級できるようにした。

児童生徒の様子

○小学校1年男子A
 ・S音（サ・ス・セ・ソ）がK音（カ・ク・ケ・コ）に置換している。
 ・上手になりたいという気持ちがとても強いため、練習に対して意欲的である。単音では改善されつつあるが、前後の音に影響されて誤って発音することが多い。

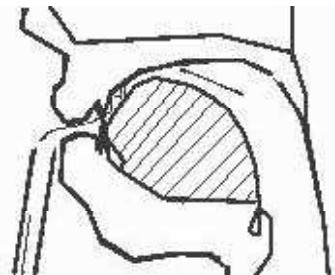


目標

○「サ」行の構音障がいの矯正
 ・S音とK音の置換による発音の誤りを改善する。
 ・発音器官の運動機能を高めるとともに、正しい構音方法が分かる。

支援のポイント

- 全体的な工夫
 ・ストロー法により、S音の出し方を練習し、うまくなってきたらストローを静かに引き抜いていく。まずは、ストローを使ったス音から練習し、ス音がうまくなった後で発音しやすい順番に行っていく。（ス→ソ→サ→セの順）
 ・モデリングのために、教師と並んで鏡の前で行う。
- 学習活動の工夫



- 1. 舌の運動**
舌の上下左右、上唇なめ、下唇なめ、舌まわし、舌打ち、舌ならし
- 2. お口の体操**
50音の口形表を読む、早口言葉
- 3. ストローを使って**
 - ①ストローを舌先と上歯茎でくわえて、ストローの穴だけから息を出す。
※手のひらを当てることで、風が前から出ていることを確認させる。
 - ②うまくなったら、徐々にストローを抜いて同様に行う。
 - ③「スーウー」という具合に、息を出した後に後続母音を誘導する。
 - ④だんだん速くして、「スー」「ス」を誘導する。
※舌を引っ込めると「ク」になりやすいので注意する。
- 4. 絵カードを読もう**
語頭→語尾→語中の順に抜く。（スキー、バス、ポスト等）
- 5. 文を読んでみよう**
すきなさしみをスーパーのそばのお店で3300円でおかあさんが買ったよ。
- 6. お話しよう**
「先生の名前」「マラソン大会」「給食」等、テーマを決める。